

事務事業名		空家等対策事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	建設水道部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり	課・室	都市計画課
	政策	06	身近な生活基盤の充実	係	建築住宅係
	施策	04	良好な住環境の整備	内線電話	273,358
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	8款	土木費	未計上	
	項	4項	都市計画費	実施期間	
	目	5目	建築景観費	平成29年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	市内の該当する建物周辺住民	意図（どのような状態にしたいのか）	適切な管理が行われていない空家等の状態を解決することにより、市民の安全性の確保や生活環境の保全を図る。
	現状・課題	適切な管理が行われていない空家等が確認されるため、所有者等の調査を実施し空き家の状態を通知している。問題解決に向けた具体的な支援策を策定する必要がある。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	空家等対策の推進に関する特別措置法		
事務事業概要	空家等に対する施策を検討するとともに、空家等の実態調査を行い対応優先度別に分類、所有者による適切な管理の必要性を啓発、空家等の処分又は利活用を促す。			
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量	
	確認された空家等の所有者等の調査		随時	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	101,000	269,000
補正・流用等		円			—	
合計		円	101,000	269,000	72,000	
決算（見込）額 A			円	26,800	30,150	—
財源内訳	国庫支出金		円			
	県支出金		円			
	市債		円			
	R2は予算額 その他特定財源		円			
一般財源		円	26,800	30,150	72,000	
正規職員数			人	0.57	0.52	0.52
人件費 B			円	3,667,380	3,349,840	3,349,840
総事業費 A+B			円	3,694,180	3,379,990	3,421,840
市民1人当たりコスト			円	86	79	81

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
対応優先度A及びBに該当する空家等の状態の改善		増加	目標	3	件	3	件	3	件
			成果	3	件	2	件	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	危険となる空家等の問題解決、空き家の活用により空家に係る市内の住環境が改善されるため。								

令和2年度の実施方針	効率的に実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	中野市空家等対策計画に基づき、所有者への空家等の状態の情報提供や意向調査を行い、自主的な対策を促す。						

